

| 前年度の成果と課題 | | 教育目標 | 思いやりの心をはぐみ たくましく生きる子の育成 | | | | 総合評価 |
|---|---|--|-------------------------|-----|-----|--|---|
| <p>昨年度の児童や保護者の評価については、おおむね良い結果が得られ、「学校が楽しい」と答える児童も高い数値であった。一方で保護者の評価では「読書が好きになるような工夫」や「望ましい食習慣が身につけてきている」等の数値が低く、今後の課題であることが反省点として挙げられた。</p> <p>地域との連携についても、行事等を精選しながらも児童の成長に必要な体験活動、また避難訓練などの防災訓練についてのさらなる推進も次年度の課題である。</p> | | <p>運営方針</p> <p>いのち輝き 感動いっぱい つなごう絆 を合い言葉に、確かな学力を身につけ、自尊感情と相手を思いやる豊かな心を育てる教育を推進する。</p> | | | | | B |
| <p>本年度の重点目標</p> <p>○学びづくり：学習習慣の定着を図る。国語科での系統的な「書く」指導の取組。読書への興味関心を高める取組。計算力・語彙力を高める取組。ICT機器の望ましい活用。</p> <p>○人づくり：(豊かな心、思いやりの心の育成と健やかな体づくり)・心の教育の重視、心に響く道徳教育や人権教育の充実・挨拶や美しい言葉遣いなど礼節の心、生活上の規則を遵守して守ろうとする規範意識の醸成、健康教育や食育、体力づくりを充実し、心身ともに健康で丈夫な体づくりの推進・体験活動の重視(コミュニティへの依頼)→(自己決定、自己有用感、共感的な人間関係の育成)</p> <p>○協働づくり(主体的な参画と協働)：同僚性が豊かな教職員集団、「課題や悩みを出しあい、学びあうことで教師力を向上させる」→情報の共有化・二上コミュニケーションを核に、保護者や地域との協働、幼保中との連携・情報発信を積極的に行い、「地域の学校」としての役割を果たす。</p> | | | | | | | |
| <p>学校経営</p> <p>評価の観点</p> <p>児童</p> <p>保護者</p> <p>教職員</p> <p>評価</p> <p>成果と次年度への課題・対応</p> <p>学校関係者評価</p> | | | | | | | |
| 1. 学校運営 | <p>◎教育目標や指導の重点を理解し、それらの実現に向けて取り組んでいる。</p> <p>◎校務分掌部会や学年会を適時に実施し、チームで企画・運営・反省等を行っている。</p> <p>◎校務分掌において、昨年度の総括・課題等をふまえ、新たな提案や改善をしながら取り組んでいる。(PDCA)</p> <p>◎家庭への様々な啓発活動(学校だより、HP、学年通信、保健・給食だより、家庭訪問、学級・学年懇談等)を通して、学校や学年・学級の取組等が保護者に伝わっている。</p> <p>◎地域や保護者、コミュニティからの意見を学年や分掌で共有し、改善に生かしている。</p> <p>◎児童や学校の実態を踏まえた、特色ある教育課程が編成されている。</p> | 3.1 | 3.5 | 3.7 | 3.7 | <p>・本年度は「思いやりの心をはぐみ たくましく生きる子の育成」を教育目標として、様々な場面で児童、保護者、教職員より声掛けやまた、お便りなどで発信して目標の実現に努めてきた。目標達成につながる具体的な取り組みなども丁寧な発信していきながら今後も教育目標実現に取り組んでいきたい。</p> <p>・校務分掌では、教職員が自分の役割を自覚し、責任をもって取り組むよう努めた。</p> <p>・児童や学校の実態を的確に把握し、特色ある教育とは何かを明らかにしながら、日々取り組めるようにしていきたい。</p> | <p>・読書活動に関して学校は様々な方法で取り組みを行っている。例えば「かぐやひめ」「浦島太郎」を知っていますか?という問いかけだけでも興味付けとなつて、一度本を読んでみよう、という意識付けにもなるのではないかと。また、地域の公民館にも子ども向けの図書館を作っている。活用していくとよい。今の時代、ゲームやスマートフォンでの動画配信視聴など簡単に情報を行うことができる。興味のある本から次の読書へとつなげていくのもよい。</p> |
| 2. 学習指導 | <p>○教室で落ち着いて学習できる環境を整えている。</p> <p>○「学習のきまり」を活用し、学習規律の意識づけを図っている。</p> <p>○毎日適切な課題(宿題)を出し、家庭学習の充実を図っている。</p> <p>○子どもの発言や質問に耳を傾けながら、「わかる」「できる」ための指導を工夫している。</p> <p>○思いや考えを伝え合い、互いに認め合える子どもを育てるための指導を工夫している。</p> <p>○あめてを明確にした授業づくりや振り返りを取り入れた授業づくりを展開している。</p> <p>○様々な読書活動を通して、読書量を増やし、読書が好きになるような指導を工夫している。</p> <p>○計画的に道徳の授業を行い、子どもの心に響く指導を工夫している。</p> | 3.4 | 3.6 | 3.7 | 3.6 | <p>・「学校の授業はわかりやすい」「宿題や家庭学習にきちんと取り組んでいる」の項目について、児童からは90%以上の肯定的な意見が見られた。落ちついて学習できる環境づくりができていいることと関係が深いと考えられる。また、どの学級においても「あめて」と「振り返り」を位置づけた授業づくりを全教員が意識し、今後も徹底して取り組んでいきたい。高学年を中心として家庭での自学自習ノートについては、取り組み方も含め、以前からしっかり本校に根付いてきていると感じる。</p> <p>・児童アンケートでは「自ら本を読んでいる」の項目に対し肯定的に答えた児童は67パーセント程度であり、昨年引き続き課題が残っている。学力向上部を中心として読書ノートの作成や、絵の本のほり、ブックトークなど趣向を凝らしながら読書の楽しさを広げよう、と意図的に取り組んでいるが、引き続き継続した工夫ある取り組みが必要である。</p> | <p>・あいつつに関して、学校でも児童会によるあいつつ運動やニコニコあいつつ運動で教職員自ら進んであいつつを行うなどしている。学校など公共の場ではあいつつできているが、それ以外ではあいつつできない現状が見られる。まずは保護者も含め大人自身があいつつを行う姿を子どもに見せていく必要がある。今後も地域や家庭とも連携しながら、時間はかかるかもしれないが、取り組みを継続していきたい。</p> <p>・避難訓練に関しては、昨年度より二上保幼、幼、小が連携して合同で訓練を行い、実際の災害時の避難を想定して動き方を確認してきた。特に6年生は最上級生として、保育所に出向いて保育所の子どもたちの手をとって歩き、避難して行く様子は大変大変楽しかったと感じる。今年度はそれに加えて地域の自治会長にも声掛けをし、各自治会数名の会員の方に参観していただいた。今後も望ましい連携のあり方を保幼小、登下校、特に登校に関しては、班長の高学年を中心に安全を付けながら片側に乗って歩くことができる。</p> |
| 3. 生徒指導 | <p>◎児童同士・地域の方・教職員に進んであいつつをしている。</p> <p>◎学校の「やくそく」や「決まり」を守って生活する。</p> <p>◎避難訓練(火災・地震)等の指導を児童の安全意識の向上のために適切に行っている。</p> <p>◎登下校中は車や自転車などに気をつけ、片側によって歩くように指導している。</p> <p>◎校内環境を美しく整えている。</p> <p>◎植物の栽培活動を通して、生長の喜び、達成感、勤労観を育てている。</p> | 3.3 | 2.8 | 3.5 | 3.5 | <p>・昨年度は避難訓練を二上保育所、二上幼稚園と合同で行い、保幼小の連携も兼ねて共に防災意識を高めてきた。今年度は加えて、二上小学校体育館を避難所とする3自治会の自治会長様をはじめ、各自治会より数名の会員の方に参観していただいた。今後も望ましい連携のあり方を保幼小、登下校、特に登校に関しては、班長の高学年を中心に安全を付けながら片側に乗って歩くことができる。</p> <p>・あいつつに関しては日ごろからの声掛けや、運営委員会からのあいつつ運動など、取り組んでいるが、自ら進んで挨拶にはまだまだ課題が多い。今後も引き続き取り組んでいく必要がある。</p> | <p>・「体育の授業や体育的行事の時間にすずんで体を動かしている」のアンケート項目に対し、児童は93%の肯定意見がみられた。今後も「運動が楽しい」と感じられる児童を育て、運動に主体的に取り組むことができるよう引き続き取組の工夫を継続していきたい。</p> <p>・養護教諭や栄養教諭と連携しながら積極的に食に関する指導や食物アレルギーに関する危機管理体制づくりを継続的に行ってきた。今後も職員の入れ替わりなども鑑みながら、意識を高くもって取組を進めていきたい。</p> |
| 4. 健康教育 | <p>◎運動や遊びに関心をもち、進んで体力向上に取り組む子どもたちが増えるように、取組の工夫が行われている。</p> <p>◎年間指導計画(ゲーム・ボール運動、器械運動、プール水泳)に沿って行い、児童の実態に合わせて授業の工夫を行っている。</p> <p>◎給食指導などの食に関する指導により、児童の望ましい食習慣(食事マナー、好き嫌いせず食べる等)が身に付いてきている。</p> <p>◎保健指導により、心と体の健康に対する知識及び態度が身に付いてきている。</p> <p>◎研修等を通して、食物アレルギーに関する危機管理体制ができていく。</p> | 3.3 | 3.3 | 3.6 | 3.6 | <p>・「体育の授業や体育的行事の時間にすずんで体を動かしている」のアンケート項目に対し、児童は93%の肯定意見がみられた。今後も「運動が楽しい」と感じられる児童を育て、運動に主体的に取り組むことができるよう引き続き取組の工夫を継続していきたい。</p> <p>・養護教諭や栄養教諭と連携しながら積極的に食に関する指導や食物アレルギーに関する危機管理体制づくりを継続的に行ってきた。今後も職員の入れ替わりなども鑑みながら、意識を高くもって取組を進めていきたい。</p> | <p>・「体育の授業や体育的行事の時間にすずんで体を動かしている」のアンケート項目に対し、児童は93%の肯定意見がみられた。今後も「運動が楽しい」と感じられる児童を育て、運動に主体的に取り組むことができるよう引き続き取組の工夫を継続していきたい。</p> <p>・養護教諭や栄養教諭と連携しながら積極的に食に関する指導や食物アレルギーに関する危機管理体制づくりを継続的に行ってきた。今後も職員の入れ替わりなども鑑みながら、意識を高くもって取組を進めていきたい。</p> |
| 5. 人権教育 | <p>○いじめや日頃のトラブル、悩みなどについて、子どもの話を傾け、ていねいに内容をつかみ、気持ちによりそいながら対応している。</p> <p>○自尊感情と相手を思いやる心を育む具体的な取組を行っている。</p> <p>○個別の課題に対して、計画的・継続的に取り組んでいる。</p> | 3.5 | 3.3 | 3.7 | 3.7 | <p>・昨年度に引き続き「やさしい二上っ子」になろう、をテーマに全児童に対し、定期的な全校放送で取り組みを行った。周りの友達への側面を適切に理解できるように支援してきた。今後も取り組みを続け、優しきあふれる二上小を目指したい。</p> <p>・いじめ問題に関しては、全職員で全児童の様子をしっかりと見取り、小さなトラブルの芽も見逃さないようにしていきたい。</p> | <p>・昨年度に引き続き「やさしい二上っ子」になろう、をテーマに全児童に対し、定期的な全校放送で取り組みを行った。周りの友達への側面を適切に理解できるように支援してきた。今後も取り組みを続け、優しきあふれる二上小を目指したい。</p> <p>・いじめ問題に関しては、全職員で全児童の様子をしっかりと見取り、小さなトラブルの芽も見逃さないようにしていきたい。</p> |
| 6. 特別支援 | <p>○一人一人の学び方の違いに配慮した指導や支援を行っている。</p> <p>◎児童実態交流や校内支援委員会、ケース会議により、児童の理解や指導、支援体制に生かされている。</p> | | 3.4 | 3.5 | 3.5 | <p>・月に一度、校内支援委員会を開催し、気になる児童の実態や支援方法、時にはSCなど関係機関の先生にも入っていた。また、職員会議の後にも、児童の共通理解の時間をも受け、児童理解に努めてきた。</p> | |
| 7. その他 | <p>毎日、朝食を食べ登校している。</p> <p>早寝、早起きの習慣が身につけている。</p> <p>学校生活を楽しく送ることができている。</p> | 3.8 | 3.9 | | | <p>・アンケートにて、朝食を食べできている児童は94.6%、保護者は97.3%、と朝食喫食に対する意識は高いと感じる。しかし、早寝、早起きについては肯定意見が約73%で改善の余地がある。保健だよりや学校だよりなどにおいても啓発はしているが、継続して改善の取り組みは行っていきたい。</p> | |

評価はA・B・C・Dの4段階

点数はアンケートの よくできた4点 だいたいできた3点
あまりできなかった2点 できなかった1点 の平均点